2021年4月20日

大阪大学大学院情報科学研究科、奈良先端科学技術大学院大学との 共同研究開始 ～AI技術などで視聴データの分析と活用～

読売テレビは、国立大学法人大阪大学（所在地：大阪府吹田市、総長：西尾 章治郎、大学院情報科学研究科特任助教（常勤）：水本 旭洋 以下、大阪大学）、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（本学：奈良県生駒市、学長：塩崎 一裕 以下、奈良先端大）と「視聴データ（※1）（ビッグデータ）の分析と活用」に関する共同研究契約を締結しました。

共同研究では、大阪大学大学院情報科学研究科モバイルコンピューティング講座と奈良先端大先端科学技術研究科情報科学領域ユビキタスコンピューティングシステム研究室との協力のもと、人工知能（AI）技術等を用いて、視聴データを解析し、『地域特性による視聴傾向分析』や『インターネット行動履歴（※2）とテレビ視聴の関係性を可視化』することで、営業・編成・制作業務への利活用を目指します。

読売テレビは、ICT 技術の利活用を積極的に進め、視聴者・スポンサーに選ばれる企業を目指します。

※1 「視聴データ（非特定視聴履歴）」とは

放送サービスの向上や視聴動向の把握、データ放送の利用状況調査、マーケティングなどを目的として、読売テレビがインターネットに接続されたテレビ受信機から収集している放送番組の視聴に関する履歴情報です。視聴データには個人を特定できる情報は含まれておらず、個人を特定する利用も行いません。

[視聴データ（非特定視聴履歴）の取り扱いについて \(ytv.co.jp\)](http://ytv.co.jp)

※2 「インターネット行動履歴」とは

インターネット利用者の Web 検索履歴、SNS 投稿履歴、各種購買履歴など